様式第６号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

実　　績　　報　　告　　書

年　　月　　日

　　公益財団法人静岡県文化財団理事長

　鈴木　壽美子　様

所在地

名　称

代表者

　　　年　　月　　日付け　第　　　号により助成金の交付の決定を受けた文化芸術による地域振興事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業完了年月日：　　　年　　月　　日 | | | | |
| １．事業の目的 | | | | |
|  | | | | |
| ２．事業内容（アウトプット） | | | | |
| 項　　目 | | 内　　容 | | アウトプット |
| ①対象者 | |  | |  |
| ②提供価値  （変化・効果） | |  | |  |
| ③実施体制 | |  | |  |
| ３．計画に対する目標の達成度合い（アウトカム） | | | | |
| 時期 | 事業計画と達成目標 | | 目標に対する達成度合い | |
| １年間 |  | | - | |
| 上記の目標に対する達成度合いに関する考察 | | | | |
|  | | | | |
| ４．事業の総括  *＊目的に対して実施内容やそれによって得られたアウトプット（結果）、アウトカム（変化・効果）がどれだけ適切だったのかを、以下の観点で総括してください。* | | | | |
| a.活動地域の課題の着眼点の妥当性 | 企画内容は、どれだけ活動地域の課題を的確に把握できていたものだったか？ | | | |
| b.実施内容の妥当性 | 上記aの活動地域の課題を解消するために、打ち手（事業内容）はどのくらい妥当だったか？ | | | |
| c.実施体制 | 上記bの提案プログラムを行う上で、実施体制（内部および外部ステークホルダーとの連携も含めて）は十分であったか？ | | | |
| d.実施プロセスおよびアウトプット | 上記bの事業実施は、計画通りにできていたか？ | | | |
| e.アウトカム | 提供価値（変化・効果）を示す具体例をあげてください | | | |
| ５．事業の改善点・今後の展望と継続性  *＊４の総括を踏まえて、次年度事業のために教訓・改善点などを書いてください。* | | | | |
|  | | | | |

※事業の詳細を記載した資料（任意様式）、写真、パンフレット、ウェブサイトの出力等を添付してください。